学校だより

翔　　空

№３１　平成２４年１１月１９日（月）
郡山市立喜久田中学校長　大堀　昌弘

「翔空（しょうくう）」の由来　〈校舎のシンボル〉

壁画「空へ」を受け、風光明媚（ふうこうめいび）なこの学舎（まなびや）から、**希望に燃え限りない空へ、力強く翔んでほしいという願い**を込めて、翔空の碑ができた。

［ベン先生がやってきた］

先週、いきなりの話ではあったのですが、喜久田小学校にお出でになっているＡＬＴのベン先生が、本校の２－１の英語の授業（指導者：石川先生）に参観に来られました。

小学校から巣立った子どもたちが、中学校でどのような英語の授業を受けているか知りたいとの要望にお応えしたものです。当日の朝、生徒にも伝えると「私のクラスにも来て欲しい」などの要望もあがりましたが、今回の訪問は、あくまでも、当日午後、小学校で教育相談が行われ、午後の時間を有効に使いたいとのベン先生の要望にお応えしたものです。単発になってすみません。残念ながら他のクラスへは、訪問しません。

【いろはがるた第６弾】

今回のいろはがるたは、**「念には念を入れ」**です。よく聞く言い回しですね。

その意味は、文字通りは、「間違いはないか落ち度はないかを十分に注意を払い事にあたる。」というものですが、転じて「行動する前によく考えなさい。」という意味を持ちます。英語では、

Look before you leap!

つまり、「跳ぶ前に見ろ」となります。物事をスムーズに運ぶためには、とても大切なことであると思います。

※　基礎・基本をしっかりと身に付けましょう！

見えぬけれどもあるもの！

～見えないけれどもそれなりの理由がある～

幻の童話詩人と言われた金子みすゞの詩に、「星とたんぽぽ」というのがあります。

見えぬけれどもあるんだよ、
見えぬものでもあるんだよ。

この一節は、子どもの言葉や行動の裏には、「見えないけれどもそれなりの理由（わけ）が必ずある」という意味です。また、一人一人の子どもの内には、見えないけれども可能性の芽が必ずあるものだ、という意味合いもあります。ですから、私たち大人の方で、見えないけれどもあるものに思いを馳せなくてはならない。今は見えないけれども、子どもたちの持っている可能性を信じ、それを引き出し、最大限に伸ばしてやりたいと考えています。

さらに、フランスの作家サン＝テグジュペリの「星の王子さま」という短編小説があります。河野万里子さんの訳では、有名なキツネと出会った場面の訳が次のようになっています。

「さようなら」王子さまは言った・・・・
「さようなら」キツネが言った。
「じゃあ秘密を教えるよ。どれもかんたんなことだ。ものごとはね、心で見なくてはよく見えない。いちばんたいせつなことは、目に見えない」
「いちばんたいせつなことは、目に見えない」
忘れないでいるために、王子さまはくり返した。

日本の詩人もフランスの小説家も目の付け所に違いはありません。真実を見定める**眼力**（がんりき）を持ち合わせているのです。

ふと、私の頭の中を次のような思いがよぎりました。

「教育者である私たちが、このような考えを常に持って子どもたちの前に立っているであろうか？」

先週金曜日に、校内で第２回生徒指導協議会という会合をおよそ１時間ほど持ちました。この会議は、先生方が、生徒一人一人にしっかりと目を向け、共通理解を図った上で、今後の生徒の学校生活を豊かにしようとする意図から設けてあります。協議する中で、私が心の中で抱いていた考えは、

○　先生方が親身に対応しようとしている姿勢を子どもたちがしっかりと感じてくれるかどうか

○　朝の登校から始まり帰りの学活にいたるまで、どのようにして先生方が子どもたちを見る目を養うか

などでした。昨年度の「学校評価のアンケート」結果の中に、喜久田中全体への評価として、◎先生方が親身になってくれている◎先生方と生徒の間の距離が近い、などの良い反応があった一方で、△部活動にもっと来て欲しい△授業をもっと生徒にわかるようにして欲しい、などの強い要望があったことも事実です。

今年も、来週あたりに、保護者宛に同様のアンケートをお願いしますが、ともかく、今回の会議をみて、本校の先生方は真剣に子どもたちのことを考えている集団であると感じ、学校経営をさらに充実させねばとの決意を私自身持つことができました。保護者の皆様には、平素から、学校に対する要望等をぶつけていただき、それに沿って、学校としては、随時、改善策を練って参りますので宜しくお願いします。